

国土交通省鉄道局との

意見交換会

吉永中執が

意見を述べる。

JR連合は、4月17日、国土交通省鉄道局において政策意見交換会を行い、貨物鉄産労から、大杉委員長と吉永中央執行委員が出席しました。JR連合萩山政策委員長挨拶では、「日頃からJRをはじめとする鉄道事業者の取り組みに対して、理解と協力いただいていることに感謝申し上げます。これまで、安全優先の取り組みを継続するとともに、職場の実態を踏まえたさまざまな課題解決に取り組んできました。とりわけ、人口減少が進む中、持続的な交通体系を構築し、また、モードシフトを推進していくことは、国や自治体などとも連携・協働して進めていくことが必要である」と述べられ、鉄道局総務課企画室・上手室長からは、「非常に多岐に亘る要望をいただいた。これは鉄道に対する期待や役割の大きさの裏返しと受け止めている。安全対策も含め、昨年相次いだ自然災害からは新たな課題が浮き彫りとなった。安全・安心・快適な鉄道サービスにつながるよう、各種課題に取り組んでいきたい」と挨拶されました。

吉永中央執行委員から、以下4項目について意見を述べられました。

・【自然災害への対応をはじめとした鉄道の安全をまもる対策の強化・防災対策の強化 貨物鉄道路線の強靱化】

1. 自然災害が起きても、経済的影響を最小限に抑えるため、モード間の連携を意識し、国や県などが所有する港と貨物駅を線路で結ぶ設備強化を、総合的な物流ネットワーク構築の観点から、国主導で推進して頂きたい。

2. 主要路線については、防災対策の強化を進め、災害に強い鉄道を目指し、日本の物流網を強靱化するため、国土強靱化支援を優先的に実施して頂きたい。

・【JR北海道・JR四国、JR貨物（地域の人流・物流ネットワーク）を長期的に支える仕組みの構築 JR貨物の経営を支える基本的スキームの維持・拡大とモードシフト促進推進のための支援】

1. アボダブル・コストルールは、国鉄改革のスキームであり、944億円の国鉄債務を請負い、経営安定基金が無いJR貨物にとっては、アボダブル・コストルールは生命維持装置である。2030年からの貨物調整金財源が未定の中、アボダブル・コストルールも法制化やそれに準じた形を要請したい。併せて、現在、協定期間ルールがあるが言えに旅客会社に負担を背負わせているのも事実であ

り、旅客会社に対するモードシフト促進に資する設備投資支援を講じて頂きたい。

・【整備新幹線計画に推進 北海道新幹線及び青函共用走行区間の取り扱い】

（1）青函共用走行区間の安全確保、貨物鉄道輸送の多頻度かつ定時輸送の担保。

1. 青函共用走行区間については、新幹線と貨物列車がすれ違う初の事例となり、今年3月ダイヤ改正から、速度を160kmまで上げていくが、何よりも安全を最優先でお願したい。鉄道貨物において北海道と本州間における極めて重要な物流ルートを形成しており、速度向上とともにJR貨物にとって大きな制約条件にならないが懸念されるところでもあり、ダイヤ構成上の制約は北海道経済界にも大きな影響を及ぼすことも十分考慮をいたうえでの判断をお願いしたい。

（2）北海道新幹線の札幌開業を見据えた人流・物流のさらなる維持・発展。

1. JR貨物の北海道地区に対する輸送状況は、本州・札幌間が約30億円の利益であるが、道東地区がマイナス30億円で運営されている。JR貨物として、北海道経済また、雇用・農産物の安定価格に寄与していると自負しており、札幌延伸後も物流を担う鉄道事業者として北海道の経済を支えていく方針に変わりはない。北海道の経済や暮らしに貢献する使命は、JR北海道・JR貨物共に同じであり、仮に青函トンネルを貨物列車が走らなくな

れば、北海道・東北・北陸の並行在来線への影響は計り知れず、この問題については、JR貨物一社だけを見るのではなく、地方交通とセットで慎重な判断をお願いしたい。

（これに対し鉄道局から、「重要インフラは3年かけて実施する」「アボダブル・コストルールについては、大臣認可であることから適切に行いたい」「青函トンネルについては、人流・物流の機能を活かす。全国ネットワークを活かすことから貨物調整金は大切である」と意見を述べられました。



発言した吉永中執（諸事情により写真は代用）

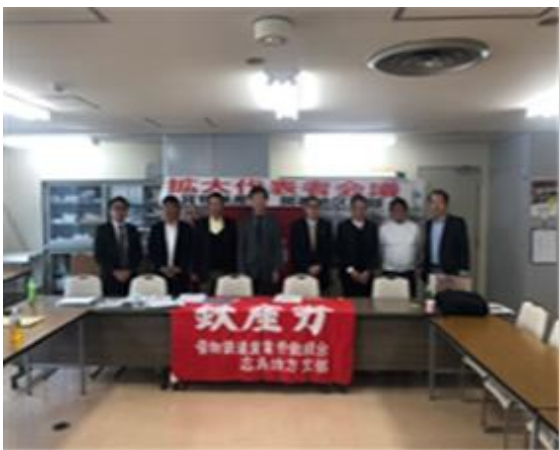


（右）萩山政策委員長（左）鉄道局総務課企画室・上手室長

関西地区本部代表者会議を開催

4月13日、広島県内において、関西地区本部代表者会議が開催されました。会議開始前に、先日行なわれた、広島県議選（東区）で見事当選された柿本忠則議員（JR西労組出身）からお礼の挨拶を賜りました。柿本議員の今後のご活躍を期待しております。

埴岡書記長による開会挨拶で始まり、福本委員長からの挨拶では、昨年発生した多くの自然災害からの復旧・統一地方選挙の活動報告と御礼・2019春闘総括・新人事制度・組織強化・政策課題等について述べられ、来賓に本部より辻村書記長をお招きし、会社の状況・2019春闘総括・統一地方選挙取り組み・安全問題・政策課題・新人事賃金制度等の挨拶をいただきました。



続いて、埴岡書記長から、これまでの経過報告と今後の取り組みについて発言し、質疑応答では、新人事賃金制度に関する質問が多く、そのなかでも「評価制度」については制度そのものの肝であり、注視していかなくてはいけないことを皆で確認し

合いました。また、全国で事象が多
数起きていたことを踏まえ、千早操
車場構内で起きた重大労災を教訓に
し、決してあのような辛い事故は起
こさないという認識のもと、今一度
引き締めていくことも確認しまし
た。代表者会議終了後は、場所を移
動し懇親会を開催し、前村退職連絡
会会長、3月末で退職された山下前
広島支部執行委員長、退職されてか
ら日頃から色々とお世話になって
いる角谷さんを交え楽しい時間を過
ごしました。

**2019年度特別優秀章及び優
秀章表彰式が行われる。**
関西保全センター・前田喜久次助役
静岡総合鉄道部・鈴木経利助役
が受賞される

4月19日、都内において開催さ
れ、優秀章に関西保全センター・前田
喜久次助役（副グループ長）と静岡総
合鉄道部・鈴木経利助役が受賞されま
した。国鉄・JRと現場のリーダーと
しての功績が認められ、これは社員3
00名に対し1名が選ばれる快挙で
あります。



今後の益々のご活躍を期待していま
す。おめでとうございました。

第19回統一地方選挙推薦候補、20名全員が当選！！

4月21日、施行された第19回統一地方選挙（後半戦）は、JR連合推薦候補者6名全員が当選し、前半戦（4月7日）と合わせて20名全員の当選を果たしました。各所でご尽力いただいた組合員、家族の皆様にご心より感謝を申し上げます。

都道府県	議 会	氏 名	年齢	政党	元・新 現・新	結果
J R 北 労 組						
北海道	北海道議会	菅原 和忠	60	立憲民主党	現	当選
北海道	北海道議会	笠木 薫	62	立憲民主党	新	当選
北海道	札幌市議会	藤原 広昭	67	立憲民主党	現	当選
北海道	小樽市議会	林下 孤芳	70	立憲民主党	現	当選
北海道	池田町議会	春井 良夫	72	無所属	現	当選
J R 東 海 ユ ニ オ ン						
静岡県	静岡県議会	佐野 愛子	63	無所属	現	当選
愛知県	愛知県議会	河合 洋介	39	無所属	現	当選
J R 西 労 組						
京都府	京都府議会	梶原 英樹	35	国民民主党	新	当選
奈良県	奈良県議会	田尻 匠	61	国民民主党	現	当選
兵庫県	兵庫県議会	栗山 雅史	44	立憲民主党	現	当選
鳥取県	鳥取県議会	福間 裕隆	77	国民民主党	現	当選
岡山市	岡山市議会	楠木 忠司	72	無所属	現	当選
広島県	広島県議会	柿本 忠則	37	無所属	新	当選
山口県	山口県議会	酒本 哲也	47	無所属	新	当選
J R 四 国 労 組						
香川県	香川県議会	山本 悟史	50	国民民主党	現	当選
高知県	高知県議会	橋本 敏男	60	無所属	現	当選
J R 九 州 労 組						
福岡県	大牟田市議会	松尾 哲也	58	国民民主党	現	当選
福岡県	田川市議会	石松 和幸	72	社民党	現	当選
福岡県	糸田町議会	松瀬 征行	74	社民党	現	当選
熊本県	人吉市議会	宮崎 保	61	無所属	現	当選